



2 オフライン（対面）でのゆるやかな交流・関わり方 （自治会機能、運営の在り方）

資料 2

（現状・課題）

- ・自治会加入率が高い。
- ・昔からの住民と新しい住民の意識の差がある。
- ・積極的な関わり、活動が引き出される工夫が必要
- ・役員のなり手がなく、世代交代ができていない。
- ・防災、減災の面から自治会の必要性が再認識されている。

（方向性）

- ・世代間交流、新しい住民と従来の住民との交流、テーマ方組織（NPO法人）と地縁型組織（自治会）の交流など他世代、他組織の交流が必要
- ・現在にマッチした自治会運営に変えていく議論も必要

（意見）

- ・何を存続させるかを考え、選択する時期が来ている。
- ・補助事業の申請が大変。簡素化が必要
- ・今の技術でなくせるものはなくして、負担を減らして、変化していく。
- ・自治会内のコミュニケーションの方法を変えたり、防犯カメラなど今の技術を活用して負担を減らすことが必要
- ・行政からの依頼が多く、役員の負担が重い、だから「役員のなり手がなく」悪循環がある。

（前回の主な意見）

- ・自治会は役員、構成員も限られ、できない部分がある。できない部分は自治会員がカバーする互助・妥協の仕組みを作っている。
- ・電話連絡網など、コミュニケーションは昔ながらのやり方が残っている。
- ・祭りや伝統行事など、自治会間のつながりをつなぎとめる行事がある。
- ・新興住宅や移住者があるなど、自治会ごとに現状は異なる。職員に自治会に来てもらって、感じてもらうことから始めてはどうか。

○自治会の活動（機能）と現状

地縁のつながりを大切にしてきた自治会は、その活動により様々な機能を果たしている。独居や防災・防犯など新たな課題や期待が生じている中、担い手不足や参加者の不足による自治会の弱体化も見受けられ、従来の価値観に固執せず、柔軟な考え方を取り入れる課題解決や工夫が求められている。

社会

- ・人口減少/少子高齢化
- ・世帯の人数が減少
- ・共働き世帯の増加
- ・所得格差/情報格差

個人

- ・家事・育児の負担増
- ・介護の負担増
- ・貧困
- ・情報化の進展

- ・自治会に関われない
- ・自治会への関心の低下
- ・役員の担い手不足
- ・行事参加者の不足

弱体化

近年の新たな課題

- ・独居/孤独死
- ・高齢者等の見守り
- ・子どもの安全
- ・空家・空き地問題

自治会の活動

互助（助け合い/お互い様）

（防犯/交通安全/災害時の対応）

地域の意見調整・渉外

（行政への要望/他団体との調整）

行政の補助

（広報の配布/人員の協力/募金）

環境美化・景観保全

（美化活動/ごみ集積場・水路の管理/
ごみの分別回収）

地域文化の継承

（祭り/伝統行事の継承）

親睦

（住民相互の連絡/運動会/レクリエーション/文化祭など）

組織運営

（役員会・総会の開催）

市役所

協力依頼

- ・広報等の配布
- ・調査依頼
- ・防災訓練/防災マップ
- ・防犯灯/カーブミラー
- ・高齢者・子どもの見守り
- ・ごみ集積関連 etc

地域活動への新たな期待

- ・防犯・災害対策の強化
- ・介護予防
- ・健康づくり
- ・子どもの居場所

課題解決の工夫・ヒント

- 自治会の意義の再認識
- 先進事例の紹介
- SNSの活用（連絡調整）
- 自治機能の広域化
- 退職世代の活躍
- 相互協力
自治会内団体/市民団体/
NPO/企業
- 事業の選択・縮小

依頼・期待



職員と地域との関わり方について

(現状・課題)

- ・市外在住の職員が増加（地域の現状を良く知らない、市民も職員の顔を知らない。）
- ・地域に寄り添った施策を展開するためには、地域に入り込むことが必要

(方向性)

- ・自治体側、行政側からの双方向の提案のほか、自治体の職員が地域の現状や課題を把握する機会としての位置付け、市民と行政職員が地域で一緒に取り組むパートナーだとお互いが思えるようなデザインやアプローチが必要

(意見)

- ・自治会の役割をうまく伝えていくことは市の役割。市が第三者の立場で、世代間ギャップを埋めていくような役割を担うべき。

○米原市地域担当職員制度

- ・地域と市役所が地域の情報や課題を共有し、相互の理解と連携を深める取組みとして平成25年10月から開始
- ・地域の課題や問題の解決や地域の活性化に向けた取組について、自治会からの依頼に基づき、職員3名を配置
- ・平成29年度から自治会役員の単年度交代の課題の解決を図る「まちづくり委員会」の組織化の支援に注力
- ・令和元年度から災害対策の強化として「避難行動要支援者の避難支援体制づくり」の推進に注力

【これまでに配置した自治会・職員数】

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	計
自治会数	19	9	12	6	5	1	4	56
延べ職員数	75人	34人	42人	18人	16人	3人	9人	197人